

米国環境保護庁
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2011年1月21日

ENERGY STAR®セットトップボックス製造事業者、サービスプロバイダー、またはその他関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、ENERGY STARセットトップボックス（STB）基準バージョン3.0と4.0、試験方法、およびサービスプロバイダー用パートナーの責務を提供する。EPAは、この重要な一連の業務を無事に完了できるよう、過去数ヶ月間にわたり多大な時間と労力を費やした多くのENERGY STAR関係者に感謝する。

最終草案とそれに続くディープスリープ協議資料に対する関係者からの相次ぐ意見に基づき、本確定基準において以下の微修正が行われた。

- 適合基準値
 - ディープスリープ中の保守を認めるために、保守活動に対する要件（第3.2.2項）を修正した。
 - 2010年12月14日のディープスリープに関する協議資料に示されているように、ディープスリープ要件（第3.2.4項）および主要TEC計算（第3.3.2項）に対する変更を組込んだ。
 - バージョン3.0について、IP基本形式TEC許容値を50kWh/年に変更した。
 - バージョン3.0の発効日を、2011年9月1日に変更した。
 - バージョン3.0およびバージョン4.0という2つの独立した文書を策定した。
- 試験方法
 - 第4.H節に示される基準チャンネルに波長を調整できない装置に対する、代替映像コンテンツの使用に関する明確な規定を追加した。
 - スリープモード（第7.6節）、自動電力低減（第7.7節）、およびディープスリープ（第7.8節）の試験時間を5分に短縮した。
- サービスプロバイダー用パートナーの責務
 - 2010年12月14日のディープスリープに関する協議資料に示されているように、ディープスリープ要件（第3.1.4項）に対する変更を組込んだ。

ENERGY STARラベル表示製品が製造日において有効な最新要件を完全に満たしているという消費者の期待に応える目的のもと、EPAは、パートナーと同様に、ENERGY STAR新旧基準の円滑な移行を希望する。この点を考慮し、EPAは以下の計画を策定した。

- V3.0を即時発効とし、製造事業者は、認証機関（CB）に対象となる自社製品をV3.0要件に対して認証してもらうことを選択することができる。
- 2011年5月1日以降に、バージョン2.1に対する新規製品届出の認証を中止するよう、認証機関に指示が出される。ただし、バージョン2.1に対する既存の認証は、ENERGY STAR適合の目的において、2011年9月1日まで有効が維持される。
- 2011年9月1日より、ENERGY STARラベルが貼付されて出荷されるすべての製品は、バージョン3.0要件を満たしていなければならない。バージョン2.1基準に対するすべての製品認証はENERGY STAR適合の目的において無効となり、CBは、バージョン3.0基準に対して認証した製品モデルのみをEPAに届出する。

なお、2011年1月1日以降、すべての新規製品は、ENERGY STARとしてラベル表示され販売される前に、EPA承認認証機関（CB）により認証されていなければならない。すべての認証要件に合格した場合、CBは、当該製品がENERGY STAR適合であることをパートナーに通知し、ENERGY STARウェブサイトにおける一覧表示用としてEPAに適合製品データを提出する。第三者認証プログラムに関する詳細情報については、www.energystar.gov/3rdpartycertを参照すること。

EPAは、本基準の改定過程において意見を提出した関係者に感謝し、貴社がエネルギー効率の良いセットトップボックスをENERGY STAR適合にして販売することによって協働できることを期待している。本基準またはパートナーシップ手続について質問または懸念がある場合には、kaplan.katharine@epa.govまたはICF InternationalのStephen Pantano (spantano@icfi.com)に連絡すること。

ENERGY STAR への継続的な支援に感謝する。

Sincerely,
Katharine Kaplan
U.S. Environmental Protection Agency
ENERGY STAR for Set-top Box